

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

両沼地方稲作情報 第3号

平成30年6月6日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)
JA会津よつば みどり地区本部、各営農経済センター、
JA会津米改良協会

1 気象情報(平成30年5月31日 仙台管区气象台発表「東北地方1か月予報」より抜粋)

<6月2日~7月1日までの天候見通し>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。期間の前半は、天気は数日の周期で変わってでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

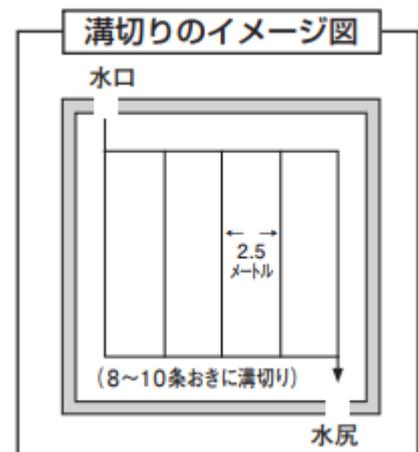


2 今後の作業について

時期	6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
生育ステージ	分けつ期			幼穂形成期		
水位	浅水			落水 → 間断灌水		
作業	除草剤散布			中干し 穂肥 いもち病防除		

【作業内容】

- 分けつ期は浅水管理で分けつを促進し、必要茎数を確保しましょう。ただし、ガスがわいて水稻の生育が停滞している場合は、軽く落水してガス抜きを行いましょう。
- 株当たり20本程度の分けつ(有効茎)を確保したら中干しを行い、無効茎を抑えましょう。中干しの際には、溝切り(2.5m間隔)を行うと、その後の水管理を容易にできます。また、水不足ほ場では、無理に中干しを行わず、用水の確保状況に応じた水管理を行ってください。
- 中干しは、幼穂形成期前までに終了し、その後は間断かん水により根を健全に保ちましょう。低温の恐れがある場合は深水にしましょう。



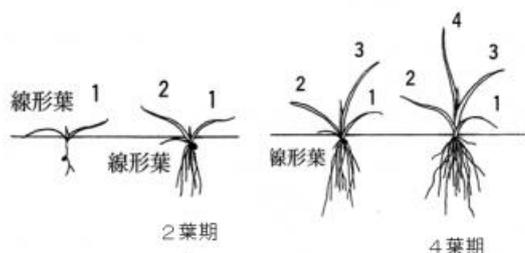
3 残草対策

水田に雑草がまだ残っている場合、中期剤、後期剤で早めに除草しましょう。

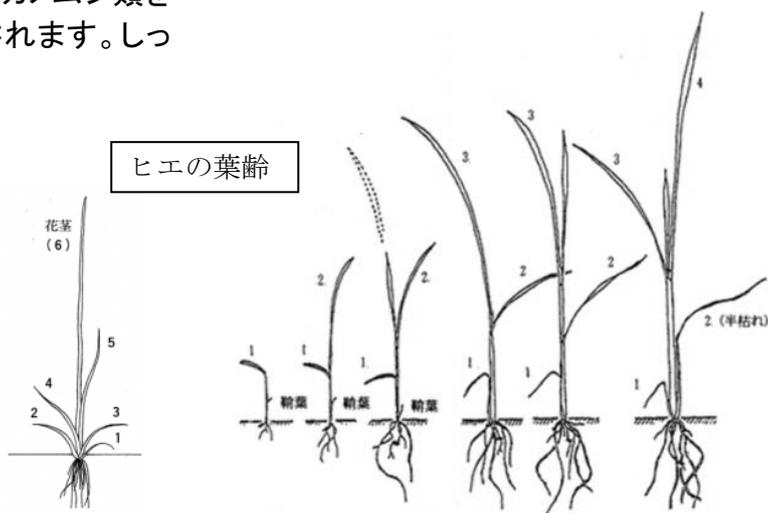
水田に残っている雑草の種類と葉齢を十分に確認し、残草に合った薬剤を適切に使用してください。

イネ科雑草やホタルイが多発すると斑点米カメムシ類を誘引し、斑点米の発生が増えることが懸念されます。しっかりと防除するようにしましょう。

ホタルイの葉齢



ヒエの葉齢



(出典：日本植物調節剤研究協会 (2002) 除草剤試験の手法(7)-雑草の葉齢の数え方-植調36(3)、105-110)

4 いもち病対策

① 会津での葉いもちのは初発は6月下旬です。感染源となる補植用置苗は、早急に処分しましょう。

② 葉いもちの早期発見に努め、病虫害発生予察情報[★]を利用し適期に防除しましょう。福島県病虫害防除所のホームページに「BLASTAM」がありますので確認してください。



★病虫害防除所のURL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>
イネ葉いもち感染好適条件出現状況(BLASTAM)

③ ほ場内に葉いもちの発生を確認した場合、速やかに散布剤(液剤・粉剤)で防除してください。
散布剤の例: ブラシン粉剤DL、ビーム粉剤DLなど

④ 田植え時に箱処理剤を処理していない場合、または直播栽培の場合は葉いもち対策として水面施用剤で防除してください。

農薬を使用する場合、使用基準(適用作物、使用量、使用回数、使用時期等)を遵守しましょう

**農作業事故が増えています。農作業時の事故に注意してください。
また、気温が高くなりますので水分を補給して、熱中症にご注意ください**

御不明な点は最寄りのJA支店または普及所までお問い合わせください。